

9月1日は
防災の日

災害時の備えを確認しよう！

災害は、いつ発生するか分かりません。皆さんの安全・安心のため、市では各種の災害対策に取り組んでいます。しかし、防災対策は行政の力だけで成し得るものではありません。日頃から各家庭で情報収集や備蓄などの備えを行い、あらかじめ取るべき行動を考えておきましょう。

☎ 危機管理課 ☎ (235) 4790

「特別警報」が創設されました

8月30日から、従来の注意報・警報に加えて「特別警報」が発表されるようになりました。これは、災害発生の危険性を分かりやすく伝えることを目的としているもの

で、東日本大震災における津波や、平成23年に紀伊半島を中心に襲った台風12号、24年7月の九州北部豪雨など、警報の発表基準をはるかに超える異常な現象が予想され、重大な災害が起る恐れが著しく大きい場合に発表されます。

どうして「特別警報」が新しくできたの？

甚大な被害をもたらした東日本大震災発生時、気象庁からは大津波警報などが発表されていきました。また、平成23年の台風12号でも、警報で重大な災害への警戒を呼びかけていたものの、災害発生の危険性が著しく高いことを有効に伝える手段がなく、関係市町村による適時的確な避難勧告・指示の発令や、住民の迅速な自主避難行動などに結びつきませんでした。

特別警報は全部「○○特別警報」という名称なの？

より「特別警報」が創設されました。

大雨、暴風、高潮、波浪、大雪、暴風雪の6種類を「○○特別警報」という名称で発表します。また、地震動、津波、噴火については、既存の警報のあるレベル以上のものを特別警報に位置付けるため、名称の変更はありません。

▼例 地震動の場合：緊急地震速報（警報）のうち、震度6弱以上の揺れが予想されるものが特別警報に位置付けられています。



▶集中豪雨で増水した相模川



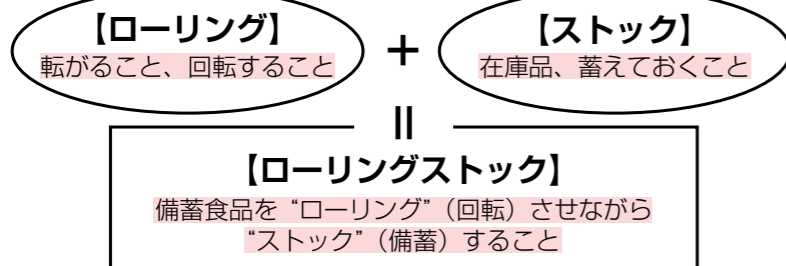
▲豪雨時の市役所前

災害は、いつ起こるか分かりません。日頃から情報収集や各家庭の備蓄などの備えを十分に行い、あらかじめ取るべき行動を考えておきましょう。

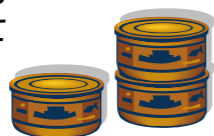
「特別警報」は、地域住民に対し従来の警報などの防災気象情報と同様に、各自治体の情報発信媒体や、テレビ、ラジオなどのマスメディアを通じて伝えられます。時間を追って段階的に発表される気象情報、注意報、警報を活用し、早めの行動を取るようにしてください。



始めよう！ ローリングストック法



日常生活の中で使う食材を多めに常備しながら普段の生活の中でも使用し、もしもの時に備えておく方法をローリングストック法と言います。



【お薦めする理由は…】

1) 在庫管理しやすい

賞味期限の長い物を購入しても、忘れてしまう事が多く、いざという時に期限が切れていることも。常に在庫を循環させ、鮮度を保ちましょう。

2) 味見ができる

災害時は心のケアも大切。おいしい食事は心を温かくしてくれます。

3) 家族が好きなものを揃えられる

食事の好みは人それぞれ。日頃から好んで食べている物を揃えられます。

4) もしもの時、いつもと同じ安心感を得られる

災害時の緊張状態をほぐすには、いつも食べている好きな物を食べることも効果的です。

5) 食料以外にも応用可能

ライフラインが途絶えることも想定し、ガスボンベや電池なども補充。生活用品にも応用しましょう。

防災行政無線などを用いた 全国一斉の緊急情報伝達試験

地震などの災害時に、全国瞬時警報システム「J-ALERT（ジェイ・アラート）」で送られる国からの緊急情報を皆さんに確実に伝えるため、緊急情報伝達手段の試験を行います。

※J-ALERT（ジェイ・アラート）…地震・津波や武力攻撃などの災害時に、国から送られる緊急情報を人工衛星などを活用して瞬時に情報伝達するシステムのこと。

9月11日(水)11時ごろと11時30分ごろの
2回実施します



- ①「これは、試験放送です」×3回
- ②「こちらは、ぼうさいえびなです」
- ③ 防災行政無線チャイム

放送
内容

市内140カ所に設置している防災行政無線から放送します。夕方の定時試験放送と同じくらいの音量で、上記の放送内容を一斉に放送します。